

## 寒冷地の特性を活かした環境負荷低減対策の実施と 従業員の運用改善でCO<sub>2</sub>削減

社屋建設に際し、「省エネルギー対策」「寒冷地特有の自然エネルギー利用」「資源循環と地産地消」「生物多様性への配慮」を実践。ダブルスキン外装による自然換気、日射熱取得による熱負荷抑制、LED照明、各種高効率設備等の省エネルギー技術の導入、井水冷房、太陽光発電、雪冷房システム、地中熱ヒートポンプ、クール&ヒートトレンチ(地中採熱による導入外気の冷却・加温)など自然エネルギーの活用により、環境負荷低減対策を実施。更に、従業員の各業務にて多くの運用改善を実施、負荷低減に取り組む。施工業者は地元を地場とする会社を選定、建築材には北海道産材や電炉鋼材等を活用し、地域との関わり、地域の資源循環、地産地消を実施、「北海道の材料を北海道で加工する」にこだわる。敷地内は、北海道の自然環境や周囲の豊かな自然林からつながるよう植樹、小動物用移動経路を造るなど地域の生態系に調和し小動物が住みやすい環境を創出している。

